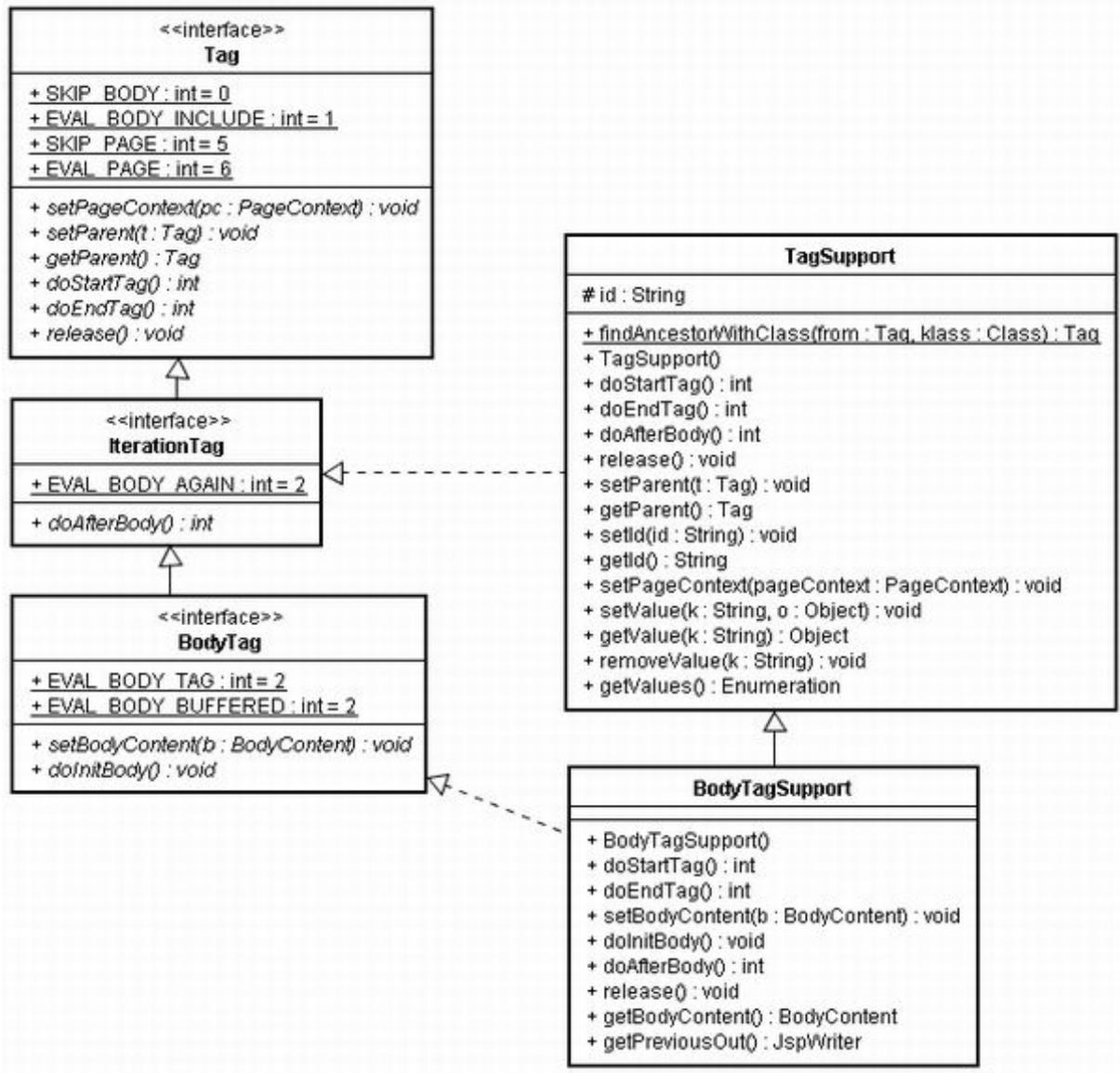


doStartTag, doAfterBody, doEndTag の各メソッドを実行するときの "Classic" カスタムタグイベントモデルのシンタックスを記述し、各メソッドの戻り値が意味するものを説明する。タグハンドルクラスを書く



TLD

http://java.sun.com/xml/ns/j2ee/web-jsptaglibrary_2_0.xsd

__taglib__

__tag__

要素		備考
name	必須	
tag-class	必須	

body-content	必須	JSP 1.2 では、" <u>JSP</u> " がデフォルトだったが、これは simple tag に対して不適切な設定。 <u>JSP</u> 2.0 では必須属性に変更された。simple tag が body を持つ場合、"scriptless" が妥当な初期値。tagdependent、 <u>JSP</u> 、empty、scriptless が設定可能。
tei-class	0..1	
variable	0..n	
attribute	0..n	
dynamic-attributes	0..1	
example	0..1	
tag-extension	0..1	

body-content の設定値

要素	備考
tagdependent	埋め込み SQL ステートメント等、異なる言語をタグ自身が解釈する
<u>JSP</u>	ネストされた <u>JSP</u> を含む
empty	body は空
scriptless	body はテンプレートテキスト (EL 式、 <u>JSP</u> アクション) のみ受け付ける。スクリプトは受け付けない

javax.servlet.jsp.tagex.Tag インターフェース

メソッド	内容
public void setPageContext(PageContext pageContext)	カスタムタグのライフサイクルで最初に呼び出される。コンテナは暗黙変数の pageContext をこのメソッドに渡す。典型的な実装は、プライベートメンバーに参照を保存する。
public void setParent(Tag parentTag)	コンテナは、子タグに親タグの参照を渡す。典型的な実装は、プライベートメンバーに参照を保存する。
public Tag getParent()	通常子タグから呼ばれ、コンテナが直接呼び出すことはない。